

修了式の校長挨拶

今日で令和3年度が終わります。今年度のテーマは「わくわく」でした。

「わくわく」については、始業式に話したこと、覚えていますか。

「自分がわくわくすることには、一生懸命取り組める。一生懸命な姿は、周りの人たちに勇気を与え、みんながやる気になる。みんながやる気になったら池ノ森小も素晴らしい学校になっていく。」と、話しました。わくわくすること、たくさんありましたね。

私は、校長室の窓から、夢中になって遊ぶ皆さんを見てわくわくしました。

それから、ギネス認定に来てくれたり、授業を見せてくれたりして、一生懸命頑張る皆さんの姿にわくわくしました。

苦手なことや失敗しそうなことから逃げないで、頑張り通したみなさんの姿にも、心がじんわりしました。頑張ったのにうまくいかなかったても、そんな人からは勇気をもらえます。私も頑張ろうと思いました。

私が特に印象強く残ったことは、先日卒業式にも言いましたが、池小の給食にツナポテトバーグが採用されたことと、池小ギネスです。この二つは、どちらもそれぞれ一人の児童の願いから始まりました。それを実現させるために協力した仲間や上級生・下級生がいました。一人の願いに協力する人たちがいたから、実現までに時間がかかりましたが、達成するまでずっとわくわくしていました。こんな素敵なわくわくは、みなさんだからできることです。そして、願って本当になうんだな、と思いました。池小は、みんなで願いをかなえられるすてきな学校なのです。

もっともっと、いろんな人たちの願いをかなえる学校になったらいいなと思いました。それで3学期は、みなさんの学級にお邪魔して、どんな学校にしたいか皆さんの願いを聞いてもらいました。いろいろな願いがありました。今日、みなさんに配った学校だより「わくわく池小」に主なものを載せましたので、おうちの人と一緒に読んでください。例えば・・・

「他の学校よりもっと勉強ができる学校にしたい。」

「池小まつりで発表することを自分で決めたい。」

「いろんな企画を考えて、その企画でみんなが楽しめる学校にしたい。」

とか・・・「ツナポテトバーグを年に2、3回出してほしい」というのもありました。

それらの願いをかなえていったら、池小がもっと良くなると思います。もちろん、願いをかなえるために、考えて行動するのは皆さんです。先生達が計画して先生達に言われて行動しても、それは願いをかなえたことにはなりません。池小を、みんなで、どんどん願いをかなえる学校にしていきませんか。そして皆さんで、池小をもっとよくしていきましょう。

春休みは、池小がもっとよくなるために、自分はどうしたらいいかたくさん考えてください。考えが浮かばない人は、本を読んだり、何か一生懸命できることを続けてみたりしましょう。学力や体力をつけて、いざというときに知恵を出したり、みんなのために動いたりできる人になるよう、自分磨きをしておきましょう。春休みにたっぷり自分磨きをして、健康に過ごして、また新学期、元気な姿を見せてください。